

〈コスト削減の目的〉

既に、1995・建設産業政策大綱にも、その政策の基本方向の中で、国民に対する目標として、『エンドユーザーにトータルコストで良いものを安く』と掲げられているように、私達、建設産業は、たえまなくコスト削減に向けて努力をすべきであります。最近あたかも財政削減の支援の最終目的のように取り扱われているようにも感じます。

しかしながら、私達が取り組むべきコスト削減は、財政状況、その他の事情に関わらず取り組むべき課題であり、工事発注者と、工事業者、双方の基本的責務であります。しかも、まさに、到来しようとする超高齢化、そして少子化社会は高コストにならざるを得ない構造変化をもたらすことは、言うまでもありません。私達は、社会全体のコストを是正してゆく施策を採るべきであり、速やかに、その施策を実行に移すべきでしょう。

つまり、コストの削減とは、ただ単に価格を下げるというのではなく、工事コストを下げることであり、工事の実コストを下げずに行う削減は、単に下請業者や労働者へのしわ寄せを生むだけの結果となります。

しかも、前述のように、社会全体のコスト削減を目指す中での、工事コスト削減は、環境要因などの外部要因にも考慮された、施策でなければならないと思います。

〈コスト削減の要点〉

コスト削減の目的を明確にすると理解できるように、私達は大きく2分野に別けて、コスト削減を考える必要があります。第一として 1) 工事コスト削減 第二に 2) 建設業に関わる社会的コストの削減です。

1) 工事コストの削減

a) 工事工期の短縮等工事の直接的なコスト削減です。

b) ネットワークによる調達コストの削減

新居浜建設協同組合（白石理事長）では、共同購入に伴う、請求業務を、コンピューターによって簡素化することによって、コストダウンに成功しています。

2) 建設業に関わる社会的コストの削減

a) 環境要因に関すること

建設リサイクル懇談会を行政とともに設置し、協同組合の事業として、再生骨材プラントや廃木材等の炭化プラントなどの事業に取り組んでいます。建設廃材等のリサイクルを行うことによって、市の廃棄物処分場が、長く使えます。

b) 高齢化社会対応型コスト削減

新居浜建設協同組合では、今年9月に第1回目の介護セミナーを開催します。元気な高齢者を生み出す産業界として、また、今後低下傾向にある公共事業による失業者の対策として、私達建設業界も、いつでも、介護の人材を提供できるような準備をする必要があると思います。

〈まとめ〉

これまでに、述べてきたように、単一企業としての削減に対する取り組みは、当然、工事の実コストの削減として、現れてくるでしょう。しかしながら業界全体として、社会コストをいかに削減してゆくかという課題に取り組もうとするとき、これまでのように、建設業界という、業界のとらまえたではなく、地域総合サービス業界として、業界ドメインを再構築して行く必要があるのではないのでしょうか。